

北海道地震 支援活動のご報告

Vol.04 (Nov 2018)

北海道胆振(いぶり)東部を襲った9月6日の地震から2カ月以上が経ちました。発災即日から緊急支援を開始したA-PADジャパンの活動について、ご支援いただいた皆さまにご報告いたします。



緊急支援物資の調達・配送

発災直後からニーズ調査を開始し、自治体や企業、パートナー NPO と協力しながら避難所や在宅避難者に緊急支援物資を届けました。



活動地



レスキュープロジェクト

発災即日、ヘリと専用航空機で土砂崩れによる被害が出ていた厚真町に入り、医師・看護師・救助犬とともに約3日間、捜索を続けました。



トレーラーの貸与

複数のトレーラーを被災地に運び、昼夜復旧・復興に動く行政や NPO に貸与。休憩スペースや事務所などとして利用されています。





Voice ～被災地からたくさんの声が届きました

「お風呂、楽しみ！」

「避難所も断水中。車もなく自力で風呂に行けなかったから助かる！」
—by避難所と温浴施設を結ぶ臨時巡回バスの利用者



「病院に必須のアイテムだから」

「医療用ゴム手袋は診療に必須。不足していたので助かりました！」
—by緊急支援物資を受け取った安平町の病院関係者



「探してくれてありがとう」

「ものすごい土砂くずれでした。親類がまだあの下にいるかもしれません」
—by行方不明者の親戚を探す厚真町の男性

「給水袋、助かりました」

「断水で皆困っていました。水を配る容器がなかったから助かった！」
—by緊急支援物資の持ち運び用給水袋を受け取った避難所管理者

「ダウンは嬉しい！」

「極寒の冬が迫る中、寒さ対策のダウンジャケット、本当に助かります。みんな喜びます！」
—by厚真町の避難所スタッフ

「空飛ぶ医師団」より皆さまへ ご寄付のお礼とご報告

gcf/457

佐賀県「ふるさと納税」を通じたご寄付596万8,660円

(10月末時点、継続受付中～1月末まで)

A-PAD ジャパンの北海道緊急支援活動に対し、「ふるさと納税」(佐賀県 NPO 支援枠)を通じて、2018年10月末までに323人の方から5,968,660円のご寄付を頂戴しました。ご支援いただいた皆様に心よりお礼申し上げます。

救助犬や佐賀大学の医師などで構成される A-PAD

ジャパンの緊急チーム「空飛ぶ医師団」は、佐賀県のふるさと納税を通じた寄付など多くの皆さまに支えられています。継続したご寄付が災害時に役立ちます。現在、「ふるさとチョイス」でお礼の品がもらえるガバメントクラウドファンディングを実施中。

<https://www.furusato-tax.jp/gcf/457>

(期間：2018年11月1日～2019年1月31日)



A-PADジャパン

840-0831 佐賀県佐賀市松原1-3-5ゼロワン佐賀ビル6F Tel:0952-20-2900 toiawase@apadm.org
<http://a-padj.org/index.html>



<https://www.facebook.com/apadjapan/>